



Science & Global vol.18

本校は、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）とスーパーグローバルハイスクール（SGH）のダブル指定を受け、探究的学習を中心とした生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促す様々な教育活動を行っています。両事業とも5年間の指定ですが、平成25年度に指定されたSSHは、今年度で最終年度を迎え、一区切りとなります。また、平成26年度からスタートしたSGHも、今年度4年目となります。これまで、地域と関わりながら、多くの外部人材の協力を得て、先端科学あるいは国際的な社会課題に関する課題研究を中心に、多くの成果をあげてきました。これまでの成果と課題を今一度振り返りながら、これからも生徒の資質・能力（コンピテンシー）を伸ばす、意欲的な取組にチャレンジしていきます。

★JICA主催「フェアトレードってなあに？」に参加しました★

4月30日（日）、「さんぴーの出雲」で行われたJICA主催の「フェアトレードってなあに？」に本校の生徒23名が参加しました。このイベントを企画するにあたって、SGHの課題研究でフェアトレードをテーマに研究してきた本校の生徒が、これまで行った活動を踏まえて、地域に向けて貢献できることがあるのではないかと考え、JICAと協議を重ね、イベントの開催が実現しました。

午前は、チョコレート作りが行われ、午後は、青年海外協力隊の体験談、そして、本校3年生がSGH事業の課題研究の一環として2年次に取り組んだ研究テーマ「フェアトレードを主流にするにはどうしたらよいか？」を発表しました。また、その後、本校生徒がモデルとなってファッションショーも行いました。生徒たちは相手に分かりやすく伝えようと一生懸命発表を行い、また、ファッションショーでは笑顔で楽しくモデルを務めました。

自分たちの発表を校内のみに留まらず、校外の方々へ向けて発表できたのは、生徒たちの今後の活動により刺激になったと思います。



★SGパワーアップセミナー（講演会）を行いました★

5月22日（月）、ソーシャルゲームの企画開発を行う株式会社アカツキの共同創業者であり、代表取締役CEOである塩田元規氏をお招きし、出雲市市民会館において今年度第1回目の「SGパワーアップセミナー」を行いました。塩田氏は、本校53期卒業生であり、この日は「新しい世界を創る高校生へのメッセージ」と題し、後輩である高校生に向けて、ご自身の豊富な経験を踏まえ、多彩な角度から将来を生きる若者へのメッセージをいただきました。

この講演会には本校の全校生徒をはじめ、本校教職員・保護者、県内教育関係者など1000人を超える聴衆が集まりました。講演の中で、「未来を切り拓くためには不断の努力を惜しまないこと」「苦しいときにこそ諦めずに自分自身を信じること」「人とのつながりを大切に、チームとしての成長を考えること」「自らの能力と可能性を信じて道を切り拓いていこうとする姿勢を持ち続けること」など、これからのグローバル社会を生きる高校生にとって、大変示唆に富んだアドバイスを送っていただきました。

講演会後には、フロアからの質問が後を絶たず、時間いっぱいまで生徒からの質問に丁寧に答えていただきました。生徒にとっては将来の自らのキャリア形成を考えるうえでも大変有意義な時間となりました。



★2年生普通科でクラス内ディベート大会を行いました★

2年生普通科7クラスが8～9グループに分かれてディベート大会を行いました。論題は、本校で独自に設定した『日本は18歳未満及び高校生のSNS参加を禁止すべきである』でした。限られた時間の中、図書館での調べ学習や、戦略立案のためのディスカッションなどを通して、グループの考えをまとめ、当日の試合に臨みました。

試合では、多角的な視点を持って主張を展開する点で準備不足なグループもありましたが、グループ全員で協力しながら、根拠に基づいて論理を展開しようという必死さが伝わってくる試合が展開できました。次の課題研究ではディベート演習で培った力をさらに発展させ、活かしてほしいと思います。



★GSC（グローバルサイエンスキャンパス）に参加しました★

5月28日（日）、広島大学で開催されたグローバルサイエンスキャンパスホップステージに、本校から4名の生徒が参加しました。本事業は、国立研究開発法人科学技術振興機構が実施し、将来グローバルに活躍できる次世代の傑出した科学技術人材の育成を目的に実施されます。

この日は「科学リテラシー講座」や「研究倫理講座」などが行われ、科学研究に対する意欲が高い生徒が、約240名参加しました。参加した本校4名の生徒も他県の生徒と切磋琢磨しながら、将来のリーダーとして活躍してほしいと願います。



★SSパワーアップセミナーを開催しました★

5月29日（月）、2年生理数科・普通科理系生徒を対象としたパワーアップセミナーを開催しました。講師に、島根大学医学部医学科の浦野健教授をお招きし、「SS探究」の活動として6月から始まる「課題研究」に関し、研究に求められる視点や研究倫理等について講演いただきました。

今回の講演を参考に、生徒の主体的な研究活動を通じて、自己の成長と社会貢献につなげてほしいと願います。



★国立天文台ハワイ観測所からの遠隔授業を行いました★

6月7日（水）、スカイプを介して、2年理数科生徒を対象に国立天文台ハワイ観測所からの遠隔授業を行いました。天文学者であり、同観測所広報室のアウトリーチスペシャリストである嘉数悠子さんから、観測所のあるハワイ島マウナケア山頂が天体観測に向いている理由や、同観測所に設置されたすばる望遠鏡の性能や研究成果について、そして嘉数さんご自身が天文学者になり、国立天文台で働くようになった経緯などを、スライド資料と動画を交えながらお話し頂きました。

当時中学2年生だった嘉数さんが、雑誌ニュートンのNASAスペースキャンプに応募したことをきっかけに、英語も全く話せない状態で世界へ飛び込んだその行動力は、生徒たちの心にとっても印象強く残ったようです。嘉数さんの「第2の地球を見つけるような人材がこの中から出てきてほしい」という言葉に、夢を膨らませる生徒たちの顔が見られました。また、講義の中で英語を交えていただいたことも生徒たちにとって良い刺激となり、今後行っていく英語での課題研究発表にも活かしてくれることを願っています。



★生徒有志が協力して多文化共生イベントを開催しました★

6月11日（日）、出雲市今市町の八雲公園周辺を会場として、地域に住む外国籍の方の生活を支援するNPO法人エスペランサと本校生徒が協力し、地域の多文化共生イベント『いずも多文化にぎわい広場』を開催しました。昨年度から「外国籍の方が暮らしやすい多文化共生社会のあり方」について課題研究を行った3年生を中心に、本校生徒有志がNPO法人エスペランサと打ち合わせを重ね、上記のイベントの開催が実現しました。

当日は、地域に住む多くの外国籍の方が家族連れで来場され、出雲高校茶道部によるお茶席や、出雲高校生徒で構成するダンスチームPFCによるダンスパフォーマンスを楽しみました。また、日本・海外の遊びを体験する「こども広場」が設けられ、本校生徒がけん玉や長縄跳びを準備して、来場する多くの子どもたちとの交流を深めました。

本校生徒の課題研究からスタートしたこのイベント。研究成果を行動・実践へと結びつけ、地域に還元することができ、企画に参加した生徒も地域社会への貢献意識に充実感を味わっていました。



今後の予定

- | | |
|----------|---|
| 7月26日（水） | 【第1・2学年希望者】SGパワーアップセミナー（於：出雲高校久徴会館）
・世界にはばたくグローバルなキャリア形成のための特別セミナー
～海外の大学で学ぶ学生とのグローバル・ワークショップ～ |
| 7月27日（木） | 【第3学年】地域・社会と関わりながら学びを深める活動 |
| ・28日（金） | ・キッズのためのスーパーサイエンス（於：出雲科学館）
・地域創生に向けた高校生からの提案（於：出雲市役所、出雲高校久徴会館）
・島根大学におけるグローバルセッション（於：出雲高校久徴会館、島根大学） |